

3学年 学年だより



令和5年9月13日
大和市立つきみ野中学校
第13号



進路講話を振り返って

8月23日（水）の登校日に、卒業生（1回り前の青学年＝高校3年生）5名を迎え、体育館で進路講話を行いました。それぞれの学校の特色、高校での生活、中学3年生の時に進路を決めたポイント、その頃の受験勉強やリフレッシュ法など様々なお話を年齢の近い先輩から聞くことができ、生徒たちにはとても良い刺激になった様子でした。

講師をしてくださった先輩方

駒澤大学高等学校
早稲田高等学院
アレセア湘南高等学校
大和西高等学校
湘南高等学校

ありがとうございました



《生徒感想文》

今回、卒業生のお話を聞いて、選択肢が広がったなと思いました。大学受験が嫌な人は大学付属の私立に。「自分」を作りたいなら自由度の高い学校に。スポーツ（部活）を頑張りたいなら、スポーツ推薦や、やりたいスポーツの強豪校。英語を頑張りたいなら、英語に力を入れている学校。決められないなら、とりあえず高いところを目指してみる。そして、日を超す前に寝る！など、親や先生、塾の先生とはまた違った、今まさに高校に通っている人ならではのアドバイスがたくさんありました。

1組

高校は偏差値だけで決めるものではなく、校内の様子や授業のカリキュラム、自分の将来の夢や、やりたいことは何かなど、様々な事柄を視野に入れておく必要があると気づいた。学校にはそれぞれ特徴があり、しっかり押さえておくことが重要であると知った。受験勉強に取り組んで学力をさらに高め、行ける高校を増やしておくことも大切だと思った。

1組

偏差値どうこうでなく、自分の価値観で進路を決めている人が多くて安心した。結局のところゴールは「社会へ貢献する」ということだと思うので、自分ももう一度本当にやりたいことについて考えてみたいと思った。また、学校の特色について理解し、自分に合ったものを選びたい。

2組

講師の卒業生は「公立高校から多めに来るのかな」と思っていたが、私立からも来ていたので、とても参考になった。私は、1学期の内申点が志望校の基準よりかなり低く、夏休み中には第一志望校を変えようかと色んな高校を見てまわった。けれど、今回のお話を聞いて、やっぱりまだ時間があるから、頑張ってみようと思える講義だった。

2組

今回の講話を受け、進路で一番大切なことは「自分のやりたいことを第一に考えて、それができる場所を選ぶこと」だとわかった。高校の種類や特徴は色々あるので、もっと調べてみようと思った。学校のホームページだけではわからないことがたくさんあるので、実際に足を運んで、その学校の雰囲気などを知るべきだと思った。

3組

やる気は「出る、出ない」ではなく、「とにかく取り組んでみる」という勢いが大切なんだと、思い知らされました。また、ネットの情報だけでは、その学校の特色があまりわからないということも、改めて実感しました。今回お話をしてくださった方々は、寝るのも起きるのも早く、生活リズムが整っていました。脳が活性化するのは起床してから3時間後なので、6時に起きたり、本番当日のことを考えて行動すべきだということを知り、自分も生活習慣を見直し、今からできることを見つけてやっていきたいと思いました。

3組

今回の講師の方の学校は、どこも私の志望校ではないけれど、話を聞いて魅力的だなと思いました。青山さんの言っていた「自分を持つ」は、本当にこれからの受験で大切だと思うし、印象に残りました。どの高校生も、高校の良いところとそうでないところを話してくださり、その高校について詳しく知ることができました。無印良品に行くという息抜きの方法は、効果がありそうなので、私もマネしてみようと思いました。

4組

恐らくどの高校もホームページにマイナス面は載せていないため、内部情報が不透明な部分があった。しかし今回は、実際に通われている先輩たちの生の声を聞くことができた。勿論良い面も仰っていたが、マイナスな悪い面も聞くことができ、非常に有意義だった。今後も学校説明会やオープンキャンパスに行き、在校生たちの雰囲気や、学校が大切にしている方針などをじっくり見極めて、自分に合った高校を探すのが大事だと改めて思った。

4組

学習や高校について、こんなにも身近でリアルなお話を聞くことができ、とても勉強になった。私が行きたいと思っている大和西高校とアレセイア高校（どちらも第一希望）の在校生のお話があったこともうれしかった。そして、どのように勉強したら良いのかも聞くことができたので、さっそく実践してみようと思った。先輩の話は、どれも本当に良い話で、強く強く心に響いた。もしこれから個人で質問できるなら、たくさんしたいと思う。またこのような機会があるといい。モチベーションややる気を上げて、これからも頑張りたい。

5組

本日の講話を受けて心に残った言葉は「偏差値＝学校の価値じゃない」であった。自分のやりたいこと、実際に校舎を訪れて感じたお気に入りの点や良くないと思った点をふまえた、慎重な判断が必要だと分かった。様々な学校を訪れないと、他とは比べられず、その結果、志望校の選択に後悔が生まれてしまうと思う。

5組

私立と県立では校則の厳しさや制服のタイプが違うことを知りました。そして、宗教的活動があるところや、運動会に命をかけているところ、英語を毎日勉強するところなど、各高校によって力を入れているところが全く違うことも知りました。私立と県立どっちに行くかは決めていませんが、高校見学、説明会、文化祭などを通して、自分にあった高校を見つけられたら良いなと思いました。

6組

人によってその高校に入ろうと決めた部分は違うし、人によって何を大切にして高校を選んだのかは人によって様々で、本当に色々な道があるんだなと実感した。青山さんの「偏差値＝学校の価値ではない」という言葉が印象に残った。今までは偏差値を大事にしていたが、他の条件を取り入れて改めて学校を調べてみようかなと思った。

6組

講話を聴いて、一人ひとり、いろいろな理由で高校を決めていることが分かりました。私は、「偏差値が高いから良い、偏差値が低いから悪い」ではなく、「自分が楽しい、この高校に行きたい」と思った高校が一番良いと思いました。「自分は自分」、周りに流されないで、高校を決めたいです。これから高校を決める時には、親・塾におすすめされた所に行くのではなく、自分が行きたいと思う学校（高校）を探そうと思いました。

7組

5人の方それぞれが、それぞれ違う充実した高校生活を送っていました。高校の楽しみ方は自分が決めることができるということが、よく分かったので、僕も僕なりの充実した高校生活を送れるようにしたいです。中学生はやはり勉強をした量によって、行ける高校が変わってくると思うので、2学期は集中して、授業やテストに取り組んでいこうと思いました。

7組

学校の見た目は見学で分かるけれど、その学校に3年間通った人の感想は聞けないし、分かりづらいことだから、聞いて参考になった。中学生のときに、勉強をどうしたのか、休憩の時に何をしていたのかなど、とても参考になる話だったので、実践できることは今日からやっつけていこうと思った。学校選びの参考になったし、話を聞いた学校に実際に行ってみたくも思った。とても貴重な体験だった。

8組

好きなところ、行きたいところに行くべきだという話を受けて、自分に合った高校に行こうと思えました。これまでの私の部活の先輩たちはみんな頭が良くて、その中でも私と同じ役職だった先輩が、特にレベルが高い高校に進学したので、「こうあるべきだ」的な流れに、私も偏差値の高い高校に行かなくちゃという気になっていました。でも、私は自分に合った高校を目指していこうと思います。

8組

2人目の卒業生が話していた「やりたくないという気持ちが生まれる前に行動する」という考え方に感銘を受けた。勉強するときはどうしても「やる気が出ない」と考えてしまいがちだけれど、そんなことを考える前に勉強して、早く集中してしまいたい。それから、夜遅くまで勉強してたせいで次の日集中できなかつたら意味がないから、健康的な生活に切り替えたいと思った。

9組

私立高校を検討するときには、仏教やキリスト教など宗教系の学校かもしれないことを考えておかなければならないのだと知った。「偏差値に左右されるな」「偏差値が高いところを目指せ」と、2人が反対のことを話していたけれど、将来やりたいことが決まっていない自分は、将来できることを増やすためにも、なるべく偏差値の高いところを目指そうと思った。湘南高校の野澤さんが「成績がオール3なのに湘南に行けた人がいる」と、さらっと言っていたので、自分もあきらめず勉強を続けようと思った。

9組



お知らせ

10月12日(木)と11月20日(月)に行われる学習診断テストの代金3,000円を収集しています。〆切は9月28日(木)となっております。〆切までのご提出にご協力お願いいたします。